

■ 職員のキャリア紹介

Case-1. 職員の紹介



地域政策局
広島サミット推進チーム
主査
小勝負 百合子

時期	所属	職名	業務内容
平成24年度～	土木建築局空港振興課	主事	広島空港の利用促進、国際線誘致等
平成27年度～	(一財)自治体国際化協会	主事	国際協力事業の助成等
平成28年度～	(一財)自治体国際化協会	主任	自治体の経済交流促進、広島県のフランク連事業のサポート等
平成30年度～	地域政策局	主任	核準備に関連した海外研究所等との調整、ウェBSITEの作成等
令和3年度～	健康福祉局被障者支援課	主任	在外被障者支援事業等
令和3年度下半期～	健康福祉局危機管理課	主任	新型コロナウイルス感染症の入院調整に関する事
令和4年度下半期～	広島サミット推進チーム	主任／主査	海外メディア招へいに関する事

県職員として働く魅力は？

県を様々な側面から支え、発展に貢献できることです。経済面だけでなく、福祉、教育、交流、国際関連などありとあらゆる分野の仕事に携わることができます。平和推進プロジェクトチームに所属していた際に、SDGs(持続可能な開発目標)と平和に関する業務に携わった機会がありました。県職員の仕事はSDGsへの貢献を感じられる業務が多く、持続可能な社会をつくるための一員として仕事ができる点は魅力だと思います。

これまでの仕事で一番印象に残っていることは？

海外と業務をやり取りすると、毎回、「広島」の知名度の高さに驚かされます。一方で、「広島」の一部の側面しか知られていないことを実感します。広島には長い歴史があり、文化的にも経済的にも様々な魅力があります。自治体国際化協会パリ事務所に派遣されていた際に、パリコレで広島の神楽団が神楽を披露したこと�이ありました。ファッショングループ第一線にいる海外の人々を広島の伝統文化で魅了した現場の喜び感は忘れられません。

Case-2. 職員の紹介



総務局
施策形成支援チーム
主査
石田 直人

時期	所属	職名	業務内容
平成15年度～	農林水産部農林水産総務室	主事	庶務(物品管理、会議事務など)
平成18年度～	芸北地域事務所税務局	主事	県税の窓口受取、納税並行収納管理課
平成21年度～	健康福祉局健康福祉総務課	主任	局内予算の総合調整
平成24年度～	商工労働局海外ビジネス課	主任	自動車関連企業の海外展開支援、海外との経済交流の推進
平成27年度～	(株)みずほ銀行産業調査部	主任	企業の財務戦略構築支援(民間派遣)
平成28年度～	総務局経営企画チーム	主任	エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング(EBPM)の推進
令和5年度～	総務局施策形成支援チーム	主任	EBPMの推進、府内各局の(GL)技術的支援(データ分析など)

県職員として働く魅力は？

自分が生まれ育った広島県をより魅力的な地域にしていくために、様々な社会問題の解決に挑戦できることにやりがいを感じています。また、県職員は多様な主体と協働する機会に恵まれております。その中で自らの適性に気付き、成長を実感することが可能です。私自身、農林水産、健康福祉、税務、商工労働、民間企業といった幅広い職場を経験しており、現在は統計分析のスキルなど、自分の強みを生かし、近年注目されているEBPMの推進を担当しています。仕事と家庭を両立しやすい環境も魅力で、職場の応援の下、育児休業を1年間取得することができました。

これまでの仕事で一番印象に残っていることは？

商工労働局海外ビジネス課では、県内企業の海外展開支援を担当していました。当時はメキシコ進出の機運が高まっており、実現可能性調査のため、県内企業とともに約1年間で4回ほど現地を訪問しました。現地では、JV提携候補先との商談や政府機関との用地交渉などを実行したのですが、会議が盛り上がり次第も協議となり、通訳との契約が切れて不在の中、会社進行をするといったハラハラも時にあります。最終的には、支援した企業が現地法人の登記に至り、企業の方々から感謝の言葉をいただけたことが一番印象に残っています。

Case-3. 派遣職員の紹介



東京事務所
(キリンホールディングス
株式会社へ派遣)
主任
河内 佑真

時期	所属	職名	業務内容
平成28年度～	地域政策局中山間地域振興課	主任	地域人材の活動支援
平成31年度～	総務局経営企画チーム	主任	地方創生の推進
令和4年度～	東京事務所(キリンホールディングス 株式会社へ派遣)	主任	コーポレートプランディング

派遣を希望した理由は何ですか？

県庁では得がたい業務経験を通じて自身のスキルとコンピテンシーを高めることで、広島県の価値向上に貢献したいと思い、県内市町や団体、民間企業などへの派遣を希望しました。また、尊敬する先輩・同僚職員に派遣経験の方が多かったことも、派遣を希望した理由の一つです。

どのような業務を行っているのですか？

ギリシャの代名詞とも言える「サッカー」を通じた企業ブランディングを担当しています。1978年から続くサッカー応援の歴史を引き継ぎ、進化させることで、世の中の課題解決と企業ブランドの向上につなげていくことが私のミッションです。日本代表戦の運営や元代表選手をゲストに招いたイベントの企画、プロモーションなど、見事な業務もありますが、その実現に向けた社内外との調整・折衝など、泥臭く骨の折れる業務も多くあります。

派遣での経験を通して得られたことは？

「お客様の行動起点」で業務を遂行する力です。業務の様々な場面において、お客様はどのような変化を求めるのか、今どのような状況にあり、何を届けることで変化を後押しできるのかなど、企業起点ではなくお客様の行動を起点として戦術を考え、実行し、成果を出すことが求められました。今後もこの視座を忘ることなく、県民の皆様が望む変化を後押しする施策づくり・実行を通じて、より良い広島県の実現に貢献していきたいと思います。

« キャリアパス »

◆ 多様な分野の業務へのチャレンジが可能

県庁には様々な分野の仕事が存在します。概ね3～5年程度で部署を異動する場合が多く、幅広い職務経験を積んでいくことができます。

異動範囲は原則、広島県内となっており、ほぼ全域から通勤可能です。

また、他県や市町・民間企業への派遣研修などの制度もあり、職員本人の意向により様々な分野での活躍が可能です。

◆ スペシャリストとしての道を極める異動も可能

一定のキャリアを積んだ後、特定の分野で活躍する異動もあります。

◆ 人事異動に当たっての面談を実施

毎年、異動希望調査を実施し、本人のライフプランやステージに応じたキャリアプランなどの希望について、上司と面談する機会が設けられています。

« 研修制度 »

採用された年に「初任研修」を行っています。その後も勤務年数や役職に対応した一般研修を行い、それぞれの役割に応じて必要な知識やスキルを体系的に習得していくことができます。また、企画立案力研修、データ分析・活用力研修、法制執務研修といった特別研修は、本人の希望により受講することができます。

一般研修

初任研修(前期) ▶ 初任研修(後期) ▶ 若手研修 ▶ 中堅研修Ⅰ

中堅研修Ⅱ ▶ 主査級研修 ▶ 監督者研修 ▶ 参事級研修

管理者研修(第一部・第二部) ▶ トップマネジメント研修

特別研修

例) ◆企画立案力研修 ◆データ分析・活用力研修

◆説明力向上研修 ◆法制執務研修

◆デジタルリテラシー向上研修 ◆アセーブ・コミュニケーション研修 等

派遣研修

民間企業の例) マツダ(株)、キリンHD(株)、三井物産(株)

【 県の職制 】 主事・技師 ▶ 主 任 ▶ 主査・グローブリーダー ▶ 参 事 ▶ 課 長 ▶ 部 長 ▶ 局 長